

## ■水稲イモチ病の防除について

いもち病は、夏季の低温、多雨、日照不足、多肥の場合に発生が多い、水稲の重要病害です。穂にいもち病が発生すると減収や品質低下につながります。

前年に発生した病原菌が付着した籾や田に置いたままの補植用苗が感染源になるため、種子消毒や箱施用剤など初期の薬剤による予防が大切です。

コシヒカリや農林48号などの品種は、いもち病に罹りやすいため、毎年、発生する地域（田んぼ）においては、田植前に予防散布を行っていない場合、出穂前までに粒剤などで予防散布を行って下さい。



葉いもちの症状

峡南農務事務所 農業農村支援課  
(峡南地域普及センター) 生産振興担当

055-240-4131